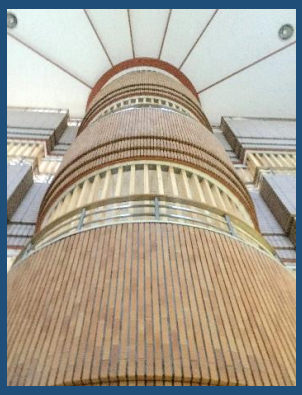
未来(みらい)　チャレンジ　感謝(かんしゃ)

Go for your dream.

夢(ゆめ)のために、ベストを尽(つ)くす



Sapporo.Ainosato.K.S

北海道札幌(ほっかいどうさっぽろ)あいの里高等支援学校(さとこうとうしえんがっこう)

令和７年度（2025年度）版　学校紹介パンフレット

令和７年度　北海道札幌あいの里高等支援学校　学校経営方針

学校教育目標

Go for your Dream.　夢のためにベストを尽くす

～今の自分を超え、より高みをめざそう～

未　来　／　チャレンジ　／　感　謝

目指す学校像

生徒の夢や希望により添い、その実現に向け共に歩む学校
保護者や地域のニーズや期待に応え、貢献する学校
教職員が専門性を発揮し、創造的な教育活動を行う学校

目指す生徒像

○　自分の持つ力や特性、得手や限界などを知り、考えを整理し、自己選択・自己決定できる生徒
○　相手の多様な考えや感情が分かり、互いを尊重し、認め合える生徒
○　学校や社会における自らの役割を自覚し、社会に貢献する喜びを感じられる生徒

目指す教職員像

○　北海道こども基本条例に基づいた生徒の人権を尊重した指導・支援を行う教職員
○　学校の教育活動を通して、生徒の主体的な学びを支える教職員
○　学校に関係する全ての人の「Well-being」を目指す教職員

Well-beingの実現

ポジティブな感情

希望や歓喜・感謝・笑い・誇り・思いやり等の感情の育成が、ネガティブな感情を打ち消し、回復力や対処力を高められる。

達成や完遂の経験

目標のために努力し物事を達成することは、幸福感を高める重要な要素であり、達成は人生における誇りにつながり、ポジティブな感情の源泉となる。

好きなことに没頭

好きなことに没頭することにより、強みが発揮され、「フローの心理状態」を体験することにつながり、幸福度が上昇しストレスが軽減される。

自分の行いの意味や意義

各個人の価値観など人間の本質に関わる重要な要素であり、目的を明確にすることで、人生の満足度が高くなり、物事に価値を見いだし、追い求めていく姿勢が養われる。

良好な人間関係

「他者に愛され評価されること」「家族、仲間や友人と良好な人間関係を構築すること」は、人生に幸福をもたらし、身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的に良好で満たされている状態となる。

生徒が主役の学校

生徒　／　保護者　／　教職員　／　地域　／　中学生

教育方針

1　生徒の学習に取り組める環境を整備するとともに、登校が継続したり、登校に向けた継続的な働き掛けをしたりするなど、安全で安心な居場所としてのセーフティネットとしての役割を果たす。
2　生徒の認知の特性やこれまでの学びや経験など教育的ニーズに応じた合理的配慮を踏まえ、合意形成が図られた個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた指導・支援が行われるようにする。
3　生徒自らが自分に必要な力が何であるかを知り、主体的に学びに向かう意欲を育てるようにする。
4　課題に対して、自らの持つ知識や技能、思考力や判断力、表現力を活用することで、適切に対処していく力が身に付く学習指導を行う。
5　生徒一人一人の可能性を最大限引き出し、将来の自立や社会参加、社会貢献のために、生徒の自己指導能力の育成を育む生徒指導の充実を図る。
6　生徒のキャリア発達を高めるため、地域や企業等に学び、地域と共にある教育活動等の経験を通して、自己効力感を高める指導の充実を図る。
7　身体的・精神的に健康で安全な生活を営む基礎を培うための保健教育、安全教育の充実を図る。
8　生徒が生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、食習慣、栄養バランス、安全や品質及び地域の食文化の理解など、食に関する指導の充実を図る。

経営方針

1　教職員相互の尊厳、信頼、協力により、各組織・部門が機能的に情報を共有し、適切なＨＲ経営、学習指導、生徒指導、進路指導、保健指導等、必要な支援の充実に向けて、連帯した校務を推進する。
2　教育課程検討委員会を中心に、生徒のLife-stageに準拠した教育課程を編成し、検証に基づいた改善・充実を図る。
3　地域と共に歩む教育の推進のため、地域の資源を活用した学習活動を地域・保護者との連携を基に進める。
4　安全で安定した教育活動のための学習環境の整備や危機管理体制の充実を図る。
5　中学校に対し、教育相談や授業参観等を通して、本校の教育内容を丁寧に伝え、中学生が主体的に進路選択を行うために必要な情報提供に一層努める。
6　教職員一人一人が、それぞれの能力や専門性を発揮し、教育活動と運営活動を推進するため、地域連携研修等を活用するなどして、自身の専門的力量、資質の向上を図ることができるような研修に取り組む。
7　充実した教育活動が行われるよう学校運営及び学習活動において、学校予算及び団体会計が計画的かつ効率的に執行されるよう努める。

令和７年度の重　点

生徒は学ぶ主体　／　**地域と共に歩む**

○　授業が分かり、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間をすごしつつ、生きる力を身に付ける授業づくりをする。

○　地域の人たちが生徒をコミュニティの一員として認め、生徒一人一人が地域のメンバーであることを実感、自覚できる教育活動を行う。

教育目標

○　授業において、生徒が主体的に学ぶ状況づくりを追求する。
・実体験の重視、五感で感じる授業、具体的な活動を通して経験が学びとなり、課題を適切に解決できる力を育成する。
・積極的に地域資源を活用し、生徒の達成感・成就感を養い、自己肯定感を高める活動を行う。
・各指導の形態の単元や題材を有機的に関連させ、それぞれの学習内容や活動の価値化・意義化を図り、生徒が何のために学ぶのかが分かる授業を設計・改善する。
○　学びの安全、生活の安全が保障され、自らを見つめ、自らを律せるような自己指導力の育成を図る。

経営目標

○　Afterコロナにおける教育活動を再構築するため、これまでの取組を精査し、改善・工夫をする。
・地域と共に歩む教育活動の推進のための教育課程を再編する。
・生徒が自分たちの地域(相手)を理解した教育活動を行い、地域と共に歩む学校づくりを推進する。
・あいcircleを持続的な取組とするための運営組織を構築する。
○　生徒が主体の開校10周年の取組や事業を推進する。
○　学習活動や教育実習等における学生の受入れ及び学校が担う次世代の教員育成の在り方を探る。
○　効果的な業務運営を推進するため、運営組織の編成を検討する。

生徒は学ぶ主体

職業学科・普通科ともに、各教科の学習（国語、数学など）を行います。仕事や生活をしていくために必要な基本的な知識を学び、学んだことを、地域での活動や体験的な学習の場でも生かせるように取り組みます。学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間をすごしつつ、生きる力を身に付けます。

地域と共に歩む

学校周辺の地域や施設などへ出向いて、作業学習やインターンシップなどの体験的な学習をします。

「あいcircle」では、学科の製品販売や取り組み紹介などを行います。また、地域の関係者の販売活動や、サークル団体の発表なども行います。生徒１人１人が地域のメンバーであることを実感、自覚できる教育活動を行っています。

学科の紹介

<職業学科>と<普通科>があります。

職業・社会・生活自立

「働く力」を中心に様々な力を身に付ける

国語
数学
理科
社会
職業
家庭

作業学習

外国語
情報
音楽
美術
体育
体力つくり
社会生活

自立活動 ＊

職業学科

「作業学習」を中心にしながら、働く意欲を身に付け、職業自立に必要なことを学んでいきます。また、国語や数学などの「各教科」の学習を通して、将来の生活に必要な知識や技能を補っていきます。

働く力も含めて、「様々な力」をバランス良く身に付ける

総合的な探究の時間

職業
家庭
外国語
情報
社会生活

国語
数学
理科
社会

音楽
美術
体育
体力つくり

自立活動 ＊

普通科

国語や数学などの各教科等の学習で学んだ知識や技能を生かして、「総合的な探究の時間」を中心に、課題解決力を身に付けます。また、自分の良さや課題を見つけて、解決するための方法を探ります。

＊自立活動では、学校の教育活動全般を通して、「個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う」ことを目標に取り組みます。

職業学科

本校は５つの職業学科があります。「作業学習」を中心に、それぞれの学科では特色ある活動に取り組み、働く力を身に付けます。

生産技術科

木材や粘土を使った製品の製作などの学習をします。

環境・流通サポート科

ビルクリーニング、受注作業、印刷・製本、地域の環境整備などの学習をします。

被服デザイン科

布製品の製作や、手織り製品の製作などの学習をします。

時間割（職業科１学年の例）

	月	火	水	木	金
１時間目 9:05～9:55	社会生活	作業学習	体力つくり	理科	国語
２時間目 10:00～10:50	体力つくり		作業学習	外国語	家庭
３時間目 10:55～11:40	社会			体育	美術
４時間目 11:45～12:40	情報				
12:40～13:25	給食・昼休み				
５時間目 13:25～14:15	職業	数学	音楽	作業学習	数学
６時間目 14:20～15:10	LHR/委員会	音楽	国語		LHR

食品デザイン科

焼き菓子やパンの製造・販売、布製品の製作などの学習をします。

福祉サービス科

介護・家事援助、接客サービスなどの学習をします。

卒業生の声

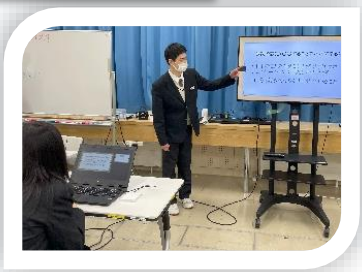
作業学習を通して、積極的に動けるようになったことやメモの習慣を意識できるようになり、中学生の頃より自信がつきました。

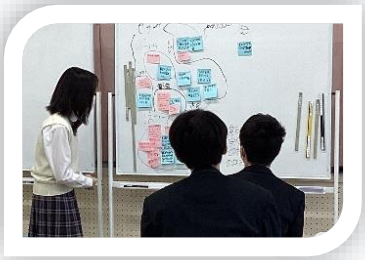
普通科

「総合的な探究の時間」で課題解決力を身に付け、
「考え行動できる社会人」を目指します。

時間割（普通科１学年の例）

	月	火	水	木	金
１時間目 9:05～9:55	社会生活	国語	体力つくり	社会	理科
２時間目 10:00～10:50	体力つくり	社会	総合的な探究の時間	国語	音楽
３時間目 10:55～11:40	数学	情報		美術	体育
４時間目 11:45～12:40	理科	音楽			
12:40～13:25	給食・昼休み				
５時間目 13:25～14:15	職業	外国語	数学	総合的な探究の時間	国語
６時間目 14:20～15:10	LHR/委員会	数学	家庭		LHR





テーマを設定して、個人やグループで調査・研究をし、プレゼンテーションを行い色々な見方や考え方などを学びます。また、地域でのボランティア活動やあい circle の運営なども行います。

短期インターンシップでは、グループで学校近隣の会社（スーパー、高齢者施設、農場など）に行き、就業体験を行います。
ワークシステムでは、校内で事務・軽作業(パソコン事務、ピッキング、紙袋作りなど)を行います。
短期インターンシップとワークシステムで、実践と評価を繰り返します。

国語、数学、理科、社会の学習が職業学科より、１時間ずつ多いです。

「教科」や「総合的な探究の時間」で知識が高まりました。自分の考えを相手に伝えること、自分から動いて、わからないことを聞く力が身につきました。

卒業生の声

よくあるQ&A

◆在学中に学科の変更はできますか？

職業学科・普通科ともに、入学後は３年間同じ学科（入学者選考により合格した学科）で学びます。

◆「普通科」を卒業した場合、高等学校を卒業した場合と同じになりますか？

高等学校と学ぶ内容や卒業認定の方法が異なります。そのため、「高等学校卒業」ではなく、「特別支援学校高等部」の課程を修了（卒業）したことになります。

◆国語や数学などの「各教科」の学習では、どのような内容を取り扱ってますか。

職業学科・普通科共に、知的障がい特別支援学校高等部の各教科の内容をもとに、生活する力や働く力を身につけるために必要な基本的な内容を取り扱っています。

学校行事の紹介

宿泊研修（2学年）

＊行き先は、各年度によって異なります。

あいcircle

あいcircleでは、地域の温かさを感じました。接客が楽しかったです。

卒業生の声

USJでアトラクションに乗ったり、
お土産を買ったりして、
とても充実した３日間でした。

新入生歓迎会

3年生を送る会

見学旅行（3学年）

学校祭

学校祭実行委員会主催のオープニングが感動しました。
学年のみんなで、ダンスや合唱などの発表を頑張りました。

＊令和６年度の様子

部活動の紹介

バドミントン部・バスケットボール部・サッカー部・卓球部は毎週火曜日・木曜日に活動し、音楽部・パソコン部・美術部は毎週火曜日に活動しています。

＊活動時間は、15:20～16:45です。対外試合が近い時期に活動日が増えたり、長期休業中に活動したりすることもあります。

あいチャレンジ
～資格・検定への挑戦～

「あいチャレンジ」では、本校を会場に行われる資格試験や検定に挑戦し、学習の成果や自分の力を確かめることができます。

令和６年度(2024年度) 実施の資格試験・検定

日本漢字能力検定、日本語ワープロ検定
情報処理技能検定（表計算）、実用英語技能検定

卒業後の進路

卒業後の生活に向けて、進路に関する学習を行います。「現場実習/長期インターンシップ」では、企業や福祉事業所などで実習を行い、自分の経験を広げ、自分の将来について考えていきます。（下記は令和6年度までのものです。）

1学年

- レディネス検査
- 進路セミナー
- 現場実習/長期インターンシップ＊1,＊2
  （5日間の就業体験）
- 進路面談
- 進路懇談

2学年

- 現場実習/長期インターンシップ（5～10日間の就業体験）
- 進路面談
- 進路セミナー
- 進路懇談

3学年

- 現場実習＊3
  （卒業後の進路先での前提実習
  福祉事業所15日間,企業20日間）
- 進路面談
- 実習報告会

＊1　職業学科は「現場実習」、普通科は「長期インターンシップ」として就業体験を行います。
＊2　進学希望者も、社会自立に向けての経験を広げるため、現場実習・長期インターンシップを行います。
＊3　進学希望者は校内実習（外部講師を招いての学習、グループワークなど）を行います。

卒業生の進路　5～7期生

◆一般就労の内訳

	建設	製造	小売り						飲食サービス	介護・福祉	清掃	ピッキング	技術サービス	事務
			ｽｰﾊﾟｰ	ドラッグストア	衣服	生花	車	その他						
7期生	1	2	3	3				1		1	1			
6期生	1	1	4	3	2		1	1	2	3	5	1		
5期生		1	1	1	2		1			1			1	

◆福祉的就労の内訳

	就労移行支援	就労継続A型	就労継続B型	自立訓練	生活介護
7期生	9	7	29	1	0
6期生	2	5	16	1	0
5期生	5	9	24	0	0

◆進学の内訳

職業訓練校（2名）、専門学校（2名）

よくあるQ&A

◆学科によって、卒業したあとの進路先に違いはありますか？

生徒それぞれの希望をもとに卒業後の進路を考えていきます。どの学科も、主に「一般就労」「福祉的就労」「進学」の選択肢があります。

◆現場実習/長期インターンシップ先はどのように決まるのですか。

1年生は、生徒・保護者の希望を確認の上、学校での学習の様子や生徒の適性などを総合的に判断し、決定します。2・3年生は、これまでの現場実習/長期インターンシップの様子や実習先より得られた評価などを振り返り、生徒・保護者の希望を確認する面談を通して決定します。

学校へのアクセス

札幌あいの里高等支援学校

校舎は4階建てで、とても広いグラウンドや2つの体育館があります。

あいの里高等支援学校前　徒歩３分

中央バス

麻 22（地下鉄麻生駅行き）

栄 20・栄 23（地下鉄栄町駅行き）

北海道教育大学札幌校

教育大学前　徒歩約15分

中央バス

麻 24（地下鉄麻生駅行き）

あいの里公園

（公園から直接学校に入ることはできません。）

当別方面

あいの里１条６丁目　徒歩約15分

中央バス

東 69（地下鉄環状通東駅行き）

あいの里公園駅　徒歩約15分

JR通学の生徒は、主にこの駅を利用しています

ＪＲ学園都市線

札幌方面

あいの里教育大駅

徒歩約20分

JR学園都市線

札幌⇔あいの里公園（約30分）

当別⇔あいの里公園（約10分）

登校は8時50分まで、下校は 15時15分です

（部活動は 16時45分 終了、17時完全下校です）

学校の制服

（女子はリボン、スラックスもあります）